

令和 8 年度事業計画書(案)

令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

一般社団法人 読谷村観光協会

基本方針

沖縄観光は、コロナ禍を経て観光需要は回復基調にあり、本村においても観光客数はコロナ禍前を上回る水準へと成長しています。令和 7 年度の読谷村入域観光客数は約 170 万人に達し、観光産業は引き続き地域経済を牽引する重要な役割を担っております。

一方で、人手不足の深刻化や担い手の確保、持続可能な観光地経営への対応など、観光を取り巻く課題は多様化・高度化しているのも事実です。

このような状況を踏まえ、本協会においては、読谷村内の観光資源の磨き上げを基軸に、デジタル技術の活用による「情報発信力の強化」や「業務効率化を図る DX の推進」に取り組むとともに、スポーツイベントや合宿等の誘致を通じたスポーツコンベンション促進事業を展開し、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図って参ります。また、関係機関との連携を一層強化し、受入体制の充実に努めることで、選ばれる観光地づくりを推進して参ります。

これらを踏まえ、令和 8 年度の読谷村観光協会の運営においては、会員事業所と連携し、行政や地域と協働しながら、「会員の幸せ」×「お客様の喜び」×「地域の活性化」という協会の理念のもと、次項のコンセプトに即した事業を展開して参ります。

◆ Concept 7 (7 つの方針)

1. 読谷村らしい地域資源の保全・利活用

- (1) 美化活動（チビチリガマ清掃、ビーチクリーンなど）を通じた地域貢献、読谷村の原風景の保全、恒久平和の発信
- (2) “読谷村の原風景”を守りつつ、魅力ある風景づくりと PR 推進（花いっぱい運動など）
- (3) 自然や農業・漁業・文化体験ツアーメニューの推進
- (4) 世界遺産座喜味城跡をはじめ、やちむん、読谷山花織などの伝統工芸の活用・魅力の発信

2. SDGs の視点を取り入れた持続可能な観光の展開

- (1) 読谷村の自然・歴史・文化・芸能の継承・発展（よみたん型ツーリズム）の推進
- (2) 「読谷村における SDGs の取組および目標」への参加
- (3) 村が検討している村内周遊・回遊、滞在型観光へ向けたアクセス、二次交通対策の推進
- (4) 安心安全の観光地マネジメントの推進（関連セミナーへの参加、情報提供等）

3. 観光人材の育成・確保

- (1) セミナー受講や先進地視察等を含めた協会職員の外部研修、村内関係者の観光人材育成の推進
- (2) 地域ガイド育成の推進

- (3) 行政や事業所と連携したインバウンド対策の強化
- (4) 若年層への地域魅力醸成を目的とした、地元学生と共に取組む映像制作事業の展開

4. 読谷観光の高付加価値化

- (1) 地域資源を生かした新たなコンテンツづくりと官民連携型の「読谷観光ブランド」の推進
- (2) 新たな観光ニーズへの対応の促進（新しい技術の情報収集及び活用）
- (3) 観光客の満足度・消費額・長期滞在型観光プログラム、コンテンツ造成へ向けた取組
- (4) 地元の食材等を活用した食と土産品の高付加価値化
- (5) 読谷村の特色を生かしたテーマ別観光の推進
- (6) 民泊、スポーツ交流等、読谷村ならではの教育旅行・観光交流の推進
- (7) 観光案内ガイドプログラム（観光地・戦跡・むら巡り）の企画や推進
- (8) 県内広域連携（名護市、宜野座村、金武町、沖縄市、浦添市、読谷村）で行う修学旅行商品「おきなわ平和探求 BASE6」の運用と事務局運営

5. マーケティング・情報発信の強化

- (1) 観光統計の整備とデジタルマーケティングの推進
- (2) 観光コンテンツ、魅力等の情報整備と共有
- (3) 国内外へのプロモーション強化と効果的な情報発信の推進（インフルエンサーの活用）
- (4) 沖縄修学旅行相談会、物産展（新たなターゲット層への発信の強化）等の県外誘客への参加
- (5) 会員のふるさと納税返礼品の推進
- (6) 毎月、事業報告も兼ねた会員向けの会報誌の発行

6. スポーツ・ビジネスツーリズムの展開

- (1) スポーツコンベンション促進事業の推進
（キャンプ誘致誘客活動・キャンプ歓迎受入・読谷流おもてなし・イベントへの会員キッチンカーの派遣 等）
- (2) ホテル等への情報提供、体験・研修プログラムの構築
- (3) スポーツを活用した地域消費行動促進企画の実施

7. 観光振興の実現に向けた推進体制の強化

- (1) 会員・行政・地域と連携した委員会活動の実施
- (2) 会員加入活動、村民参加型の村観光振興の推進
- (3) 会員同士の商品・サービスを掛け合わせた新たな商品の造成
- (4) 村内各種団体（村当局、村商工会、村漁協、JA）や県・OCVB との連携
- (5) 地域のイベントの主催・協力・後援
- (6) 地域振興協議会（地域振興センター）での活動・連携
- (7) DMO（DMC も含む）の情報収集 等
- (8) 会員と協力したイベント展開の検討及び実施